



2020年3月期第1四半期 決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス
2019年8月

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨ててして表示しております。
- 本資料の百分率（％）は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

出所

（一社）日本自動車販売協会連合会、（一社）全国軽自動車協会連合会、
（株）ユーストカー、財務省貿易統計

2020年3月期 第1四半期連結業績の概要

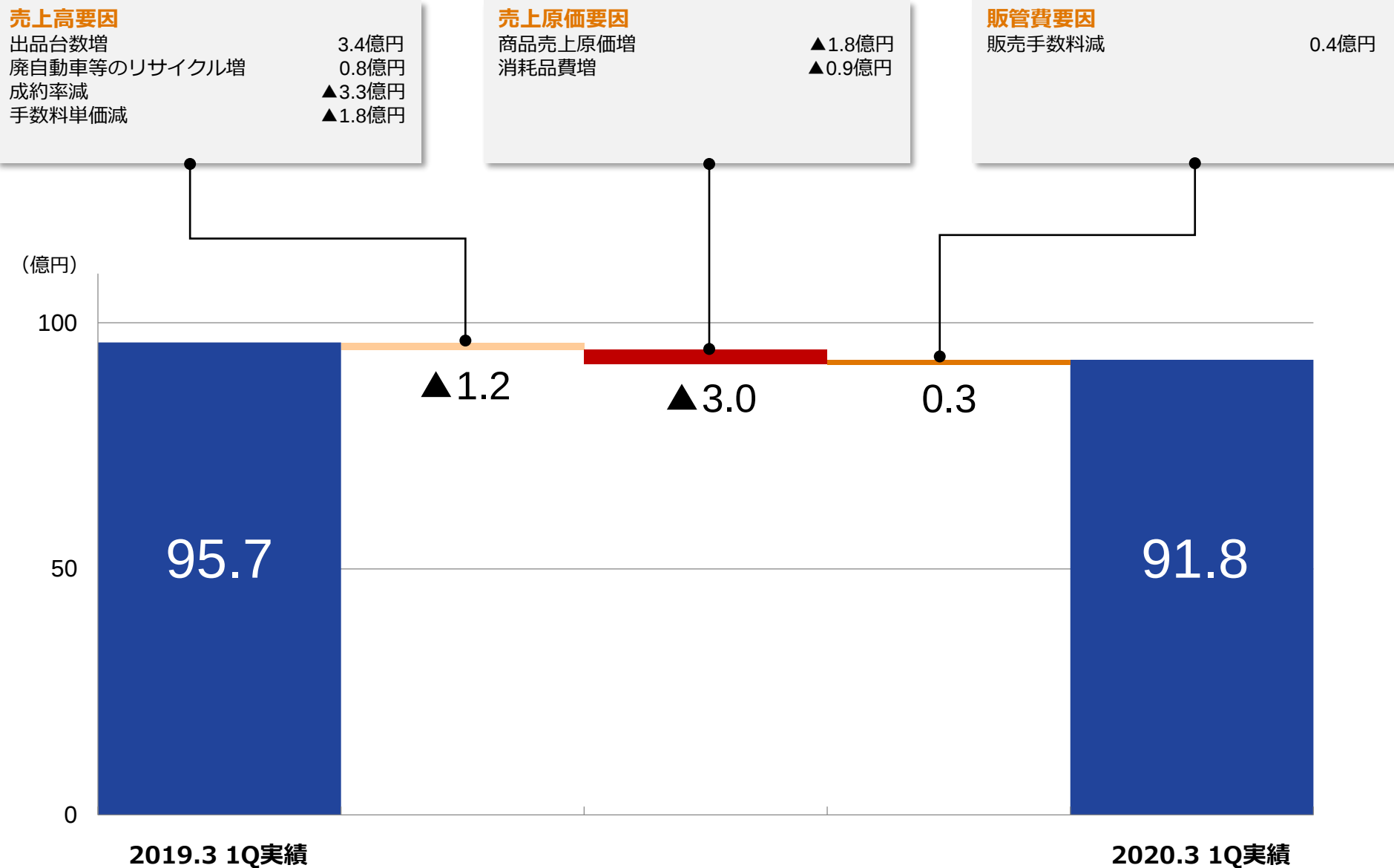
■売上高198.6億円（前年同期比0.6%減）、営業利益91.8億円（前年同期比4.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益62.5億円（前年同期比2.8%減）。

■JAA会場、HAA神戸会場の出品台数および成約台数が減少。

（単位：百万円）

	2018.3 1Q	2019.3 1Q	2020.3 1Q	前年同期比
売上高	17,638	19,987	19,861	99.4%
売上原価 (売上比)	6,957 (39.4%)	7,627 (38.2%)	7,929 (39.9%)	104.0%
売上総利益 (売上比)	10,681 (60.6%)	12,359 (61.8%)	11,931 (60.1%)	96.5%
販売費及び一般管理費 (売上比)	2,041 (11.6%)	2,786 (13.9%)	2,747 (13.8%)	98.6%
営業利益 (売上比)	8,639 (49.0%)	9,573 (47.9%)	9,184 (46.2%)	95.9%
経常利益 (売上比)	8,776 (49.8%)	9,716 (48.6%)	9,331 (47.0%)	96.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上比)	5,995 (34.0%)	6,438 (32.2%)	6,258 (31.5%)	97.2%

2020年3月期第1四半期 営業利益増減分析（実績）



(単位：百万円)

売上高	2018.3 1Q	2019.3 1Q	2020.3 1Q	前年同期比
オートオークション	13,898	16,356	16,358	100.0%
中古自動車等買取販売	2,294	2,254	2,067	91.7%
その他	1,445	1,377	1,434	104.2%
合計	17,638	19,987	19,861	99.4%
営業利益（営業利益率）	2018.3 1Q	2019.3 1Q	2020.3 1Q	前年同期比
オートオークション	8,414 (59.9%)	9,305 (56.5%)	8,986 (54.6%)	96.6%
中古自動車等買取販売	39 (1.7%)	48 (2.2%)	18 (0.9%)	37.7%
その他	159 (11.0%)	194 (14.1%)	154 (10.7%)	79.2%
消去または全社	25	24	25	101.6%
合計	8,639 (49.0%)	9,573 (47.9%)	9,184 (46.2%)	95.9%

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

- 財務活動によるキャッシュ・フローは配当金の支払い、自己株式の取得などにより支出が増加。
- 自己資本比率は79.9%。

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

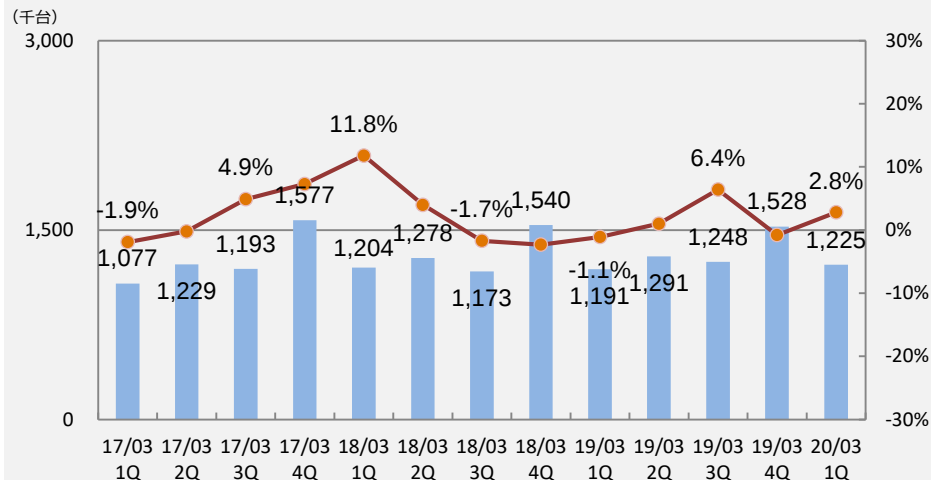
	2019.3	2020.3 1Q		2019.3	2020.3 1Q
流動資産	77,431	65,936	流動負債	38,077	31,446
現金及び預金	51,352	43,051	オークション借勘定	22,209	19,268
オークション貸勘定・他	26,078	22,885	その他	15,867	12,178
固定資産	155,271	154,786	固定負債	11,090	10,998
有形固定資産	104,887	104,695	負債合計	49,168	42,445
その他	50,384	50,090	純資産合計	183,535	178,277
資産合計	232,703	220,723	負債・純資産合計	232,703	220,723

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

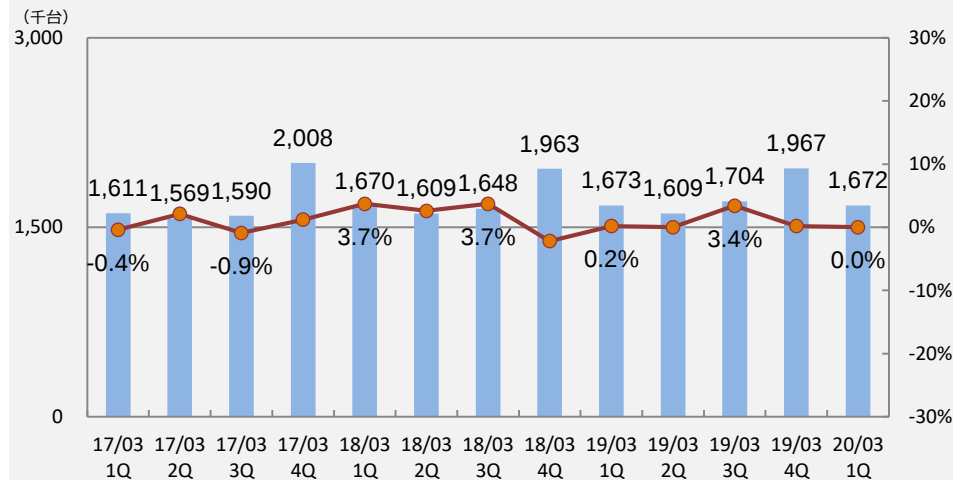
（単位：百万円）

	2018.3 1Q	2019.3 1Q	2020.3 1Q	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,532	3,223	3,952	729
投資活動によるキャッシュ・フロー	16,168	▲360	▲1,899	▲1,538
フリーキャッシュ・フロー	19,700	2,862	2,053	▲809
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲6,016	▲6,219	▲10,353	▲4,134
設備投資（支出ベース）	2,864	422	1,622	1,199
減価償却費	1,131	1,267	1,207	▲59

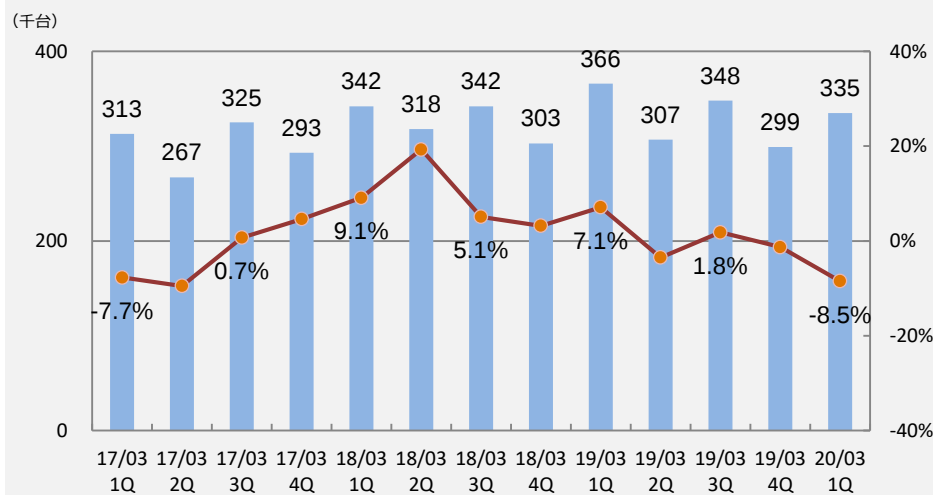
新車登録台数と前年同期比



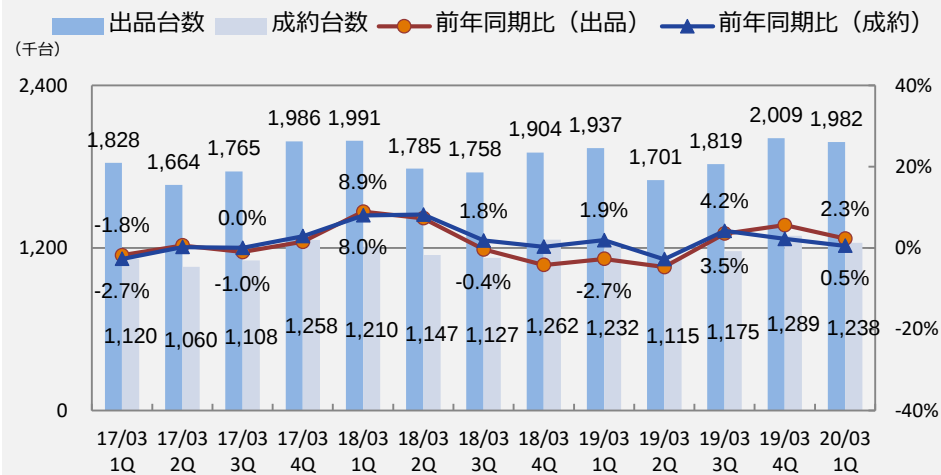
中古車登録台数と前年同期比



中古車輸出台数と前年同期比



AA市場 出品・成約台数と前年同期比



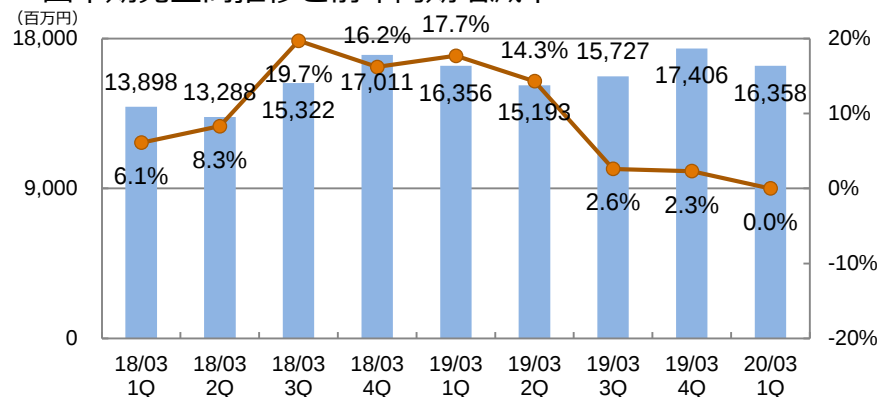
- 出品台数は77.1万台（前年同期比2.6%増）、成約台数は46.0万台（前年同期比1.0%減）、成約率は59.7%（前年同期実績61.8%）。
- 低額車の買取台数増加により買取金額が増加。
- JAA会場、HAA神戸会場の出品台数および成約台数が減少。

オートオークションのセグメント第1四半期業績

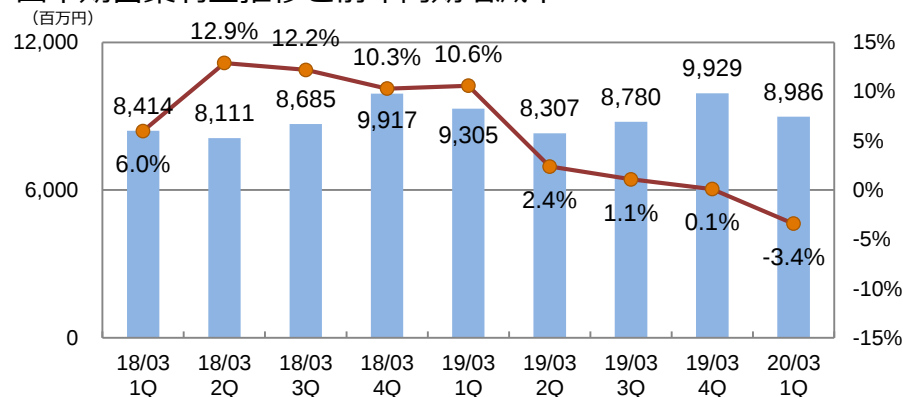
（単位：百万円）

	18/03 1Q	19/03 1Q	20/03 1Q	前年同期比
売上高	13,898	16,356	16,358	100.0%
出品手数料	3,308	3,923	3,869	98.6%
成約手数料	3,159	3,792	3,689	97.3%
落札手数料	4,658	5,565	5,546	99.7%
その他	2,773	3,074	3,253	105.8%
営業利益	8,414	9,305	8,986	96.6%
営業利益率	59.9%	56.5%	54.6%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率

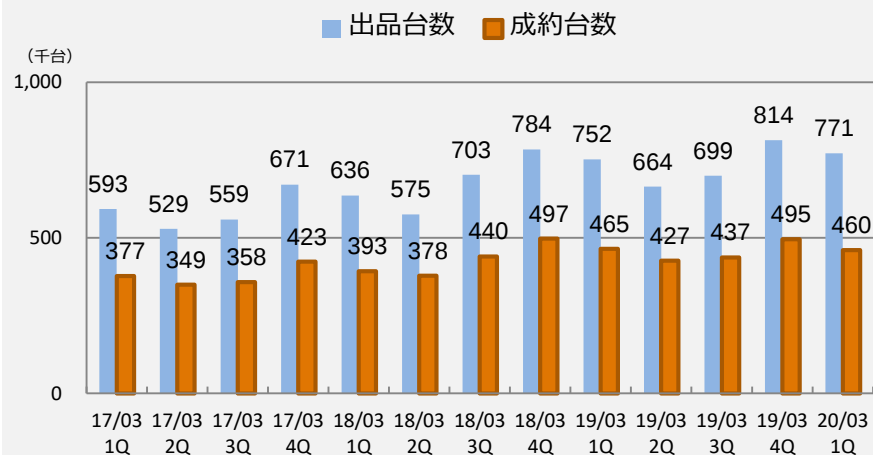


四半期営業利益推移と前年同期増減率

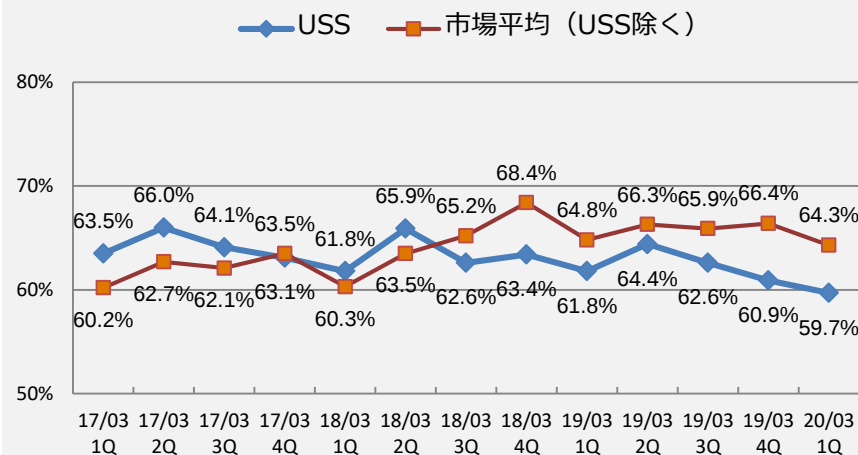


※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

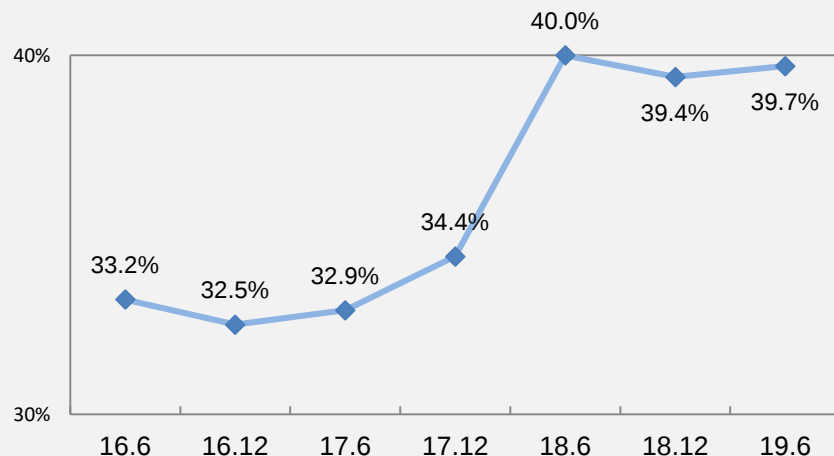
出品・成約台数の推移



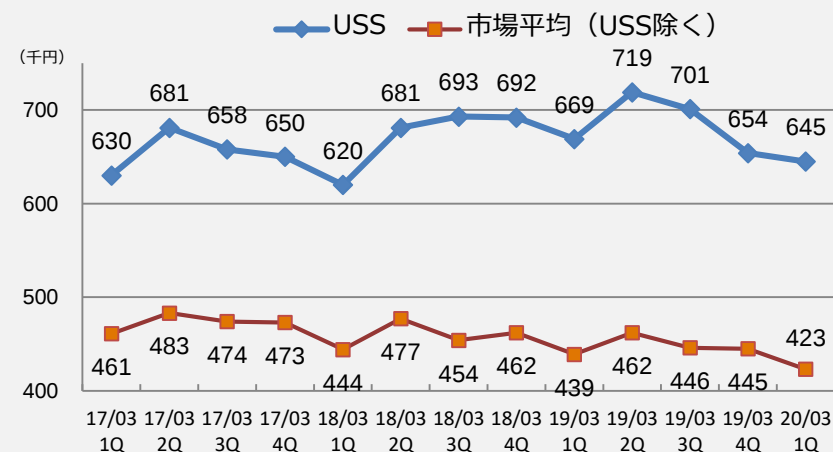
成約率の競合比較



出品台数市場シェアの推移

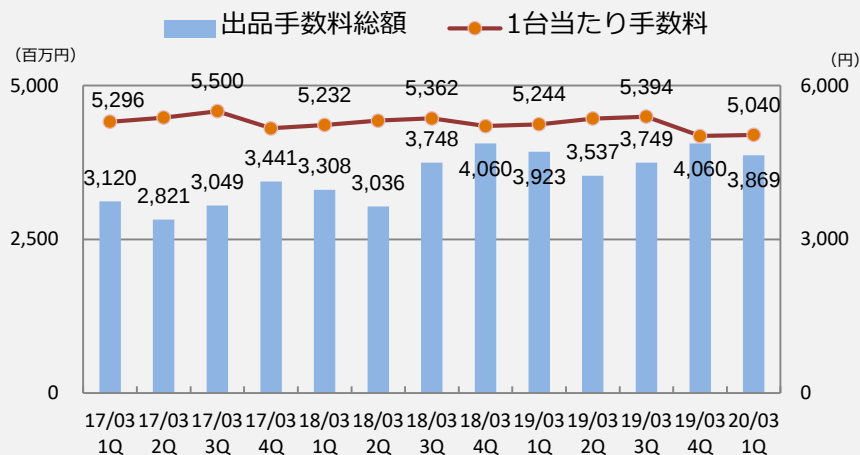


1台当たり成約車両金額の競合比較

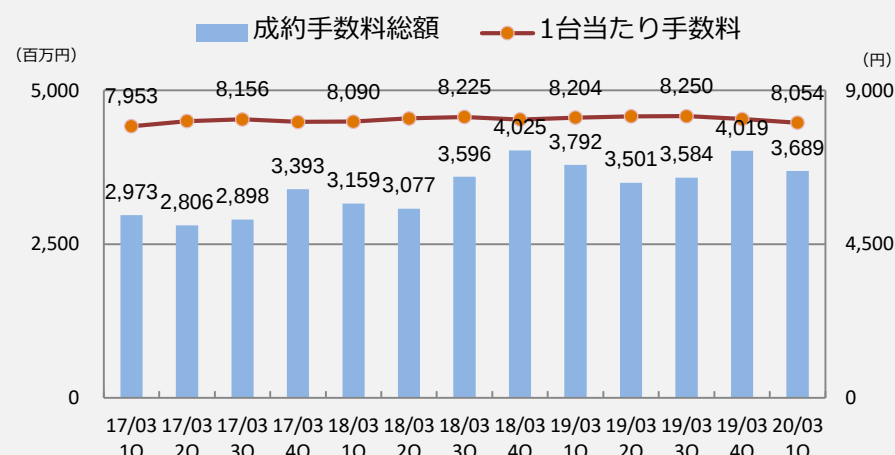


※12月期は暦年の、6月期は半年の数字を記載しております。
 ※2017年10月よりJAA、HAA神戸の実績を含めております。
 ※JBAの実績は含めておりません。

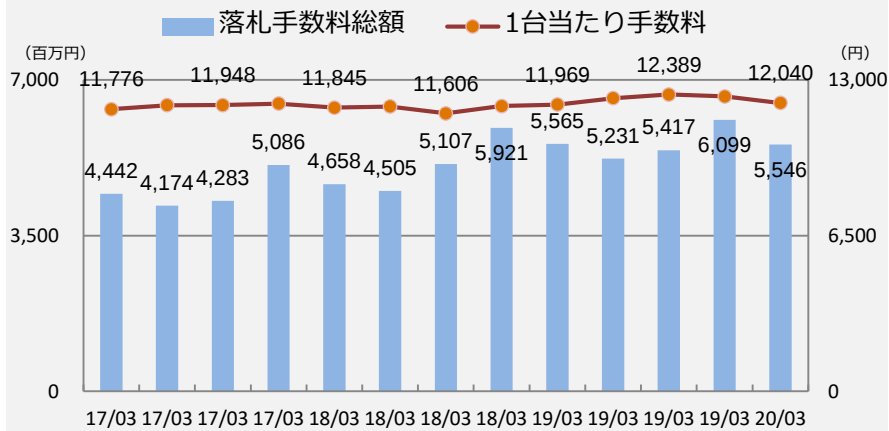
出品手数料総額と1台当たり手数料



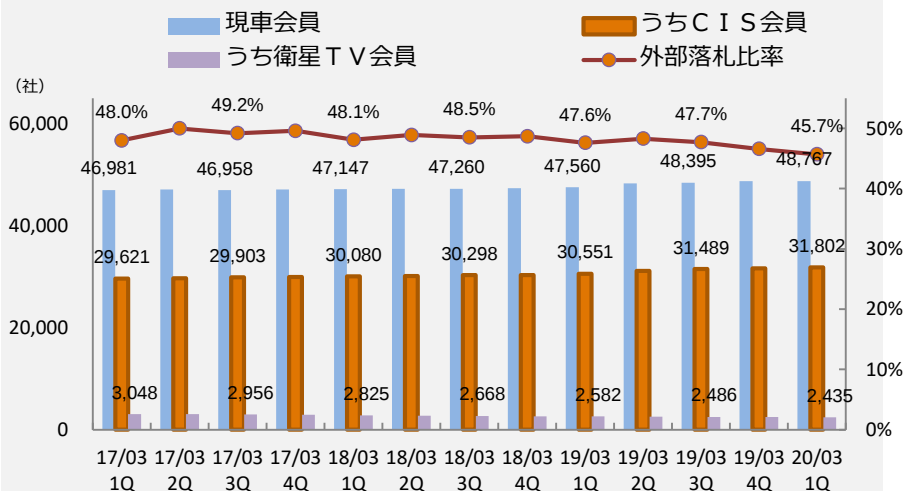
成約手数料総額と1台当たり手数料



落札手数料総額と1台当たり手数料



会員数と外部落札比率



※ 1台当たり手数料は、連結相殺前の数値をもとに算出しております。
 ※ 2017年10月よりJAA、HAA神戸の実績を含めております。
 ※ JBAの実績は含めておりません。

オートオークションのセグメント④

2019年4月から6月までの3か月間

(単位：回、台)

	開催数		出品台数			成約台数			成約率	
	20.03 1Q	19.03 1Q	20.03 1Q	19.03 1Q	前年同期比	20.03 1Q	19.03 1Q	前年同期比	20.03 1Q	19.03 1Q
東京	12	12	171,332	163,869	104.6%	114,373	112,316	101.8%	66.8%	68.5%
名古屋	12	12	127,662	127,328	100.3%	65,693	69,364	94.7%	51.5%	54.5%
大阪	12	12	52,649	41,681	126.3%	26,513	23,266	114.0%	50.4%	55.8%
横浜	12	12	49,595	46,317	107.1%	30,480	30,331	100.5%	61.5%	65.5%
九州	12	12	47,936	43,492	110.2%	26,251	26,218	100.1%	54.8%	60.3%
R－名古屋	12	12	41,566	37,768	110.1%	33,472	31,448	106.4%	80.5%	83.3%
札幌	12	12	40,487	39,291	103.0%	25,598	25,921	98.8%	63.2%	66.0%
静岡	12	12	25,288	22,373	113.0%	16,131	14,234	113.3%	63.8%	63.6%
神戸	12	12	22,943	21,029	109.1%	13,437	11,973	112.2%	58.6%	56.9%
岡山	12	12	18,420	17,203	107.1%	12,011	11,641	103.2%	65.2%	67.7%
東北	12	12	14,844	15,215	97.6%	10,357	11,333	91.4%	69.8%	74.5%
群馬	12	12	14,605	14,331	101.9%	9,165	9,902	92.6%	62.8%	69.1%
埼玉	12	12	13,653	12,943	105.5%	7,509	7,715	97.3%	55.0%	59.6%
福岡	12	12	13,542	10,128	133.7%	8,493	6,234	136.2%	62.7%	61.6%
新潟	12	12	11,825	11,165	105.9%	5,235	5,222	100.2%	44.3%	46.8%
北陸	12	12	5,191	4,156	124.9%	3,603	2,529	142.5%	69.4%	60.9%
JAA	12	12	26,845	31,992	83.9%	14,324	19,578	73.2%	53.4%	61.2%
HAA神戸	12	12	73,309	91,954	79.7%	38,087	45,950	82.9%	52.0%	50.0%
合計	216	216	771,692	752,235	102.6%	460,732	465,175	99.0%	59.7%	61.8%

※JBAの実績は含めておりません。

オートオークションのセグメント⑤

(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	2017年度	234,454	183,593	218,888	195,997	169,623	209,872	1,212,427	238,322	250,552	214,426	201,672	244,650	337,961	1,487,583	2,700,010
	増減率	0.5	11.0	12.1	4.9	20.1	4.3	7.9	27.8	26.8	22.5	16.8	17.0	16.7	20.9	14.7
	2018年度	266,046	232,114	254,075	224,212	206,245	234,019	1,416,711	234,741	257,451	207,046	224,051	262,464	327,663	1,513,416	2,930,127
	増減率	13.5	26.4	16.1	14.4	21.6	11.5	16.8	▲1.5	2.8	▲3.4	11.1	7.3	▲3.0	1.7	8.5
	2019年度	265,360	248,623	257,709	249,936			1,021,628							-	1,021,628
	増減率	▲0.3	7.1	1.4	11.5			-							-	-
成約台数	2017年度	138,362	116,398	138,964	127,444	112,434	139,118	772,720	152,222	157,094	130,815	129,500	157,319	210,328	937,278	1,709,998
	増減率	▲1.5	6.7	8.7	3.6	20.4	4.5	6.3	25.5	23.8	18.5	17.7	16.0	18.2	19.9	13.3
	2018年度	159,017	147,501	158,657	143,599	131,988	152,066	892,828	152,009	161,603	123,834	136,324	161,389	198,004	933,163	1,825,991
	増減率	14.9	26.7	14.2	12.7	17.4	9.3	15.5	▲0.1	2.9	▲5.3	5.3	2.6	▲5.9	▲0.4	6.8
	2019年度	156,986	150,529	153,217	153,889			614,621							-	614,621
	増減率	▲1.3	2.1	▲3.4	7.2			-							-	-
成約率	2017年度	59.0	63.4	63.5	65.0	66.3	66.3	63.7	63.9	62.7	61.0	64.2	64.3	62.2	63.0	63.3
	2018年度	59.8	63.5	62.4	64.0	64.0	65.0	63.0	64.8	62.8	59.8	60.8	61.5	60.4	61.7	62.3
	2019年度	59.2	60.5	59.5	61.6			-							-	-

※2017年10月よりJAA、HAA神戸の実績を含めております。

※JBAの実績は含めておりません。

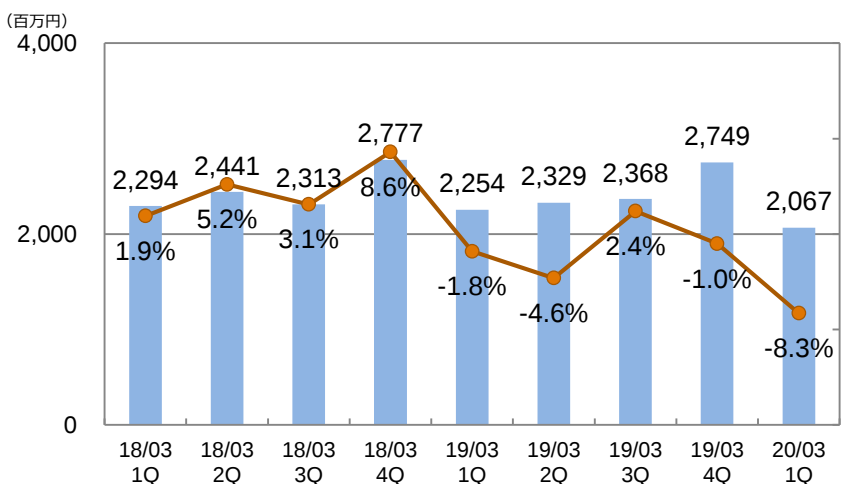
- 中古自動車買取専門店「ラビット」は、高額車両の買取台数の減少による販売価格の低下、広告宣伝費の増加により減収減益。(売上高1,282百万円(前年同期比4.1%減)、営業利益29百万円(前年同期比41.7%減))
- 事故現状車買取販売事業は、買取台数の減少により営業損失。(売上高784百万円(前年同期比14.3%減)、営業損失11百万円(前年同期実績 営業損失2百万円))

中古自動車等買取販売のセグメント第1四半期業績

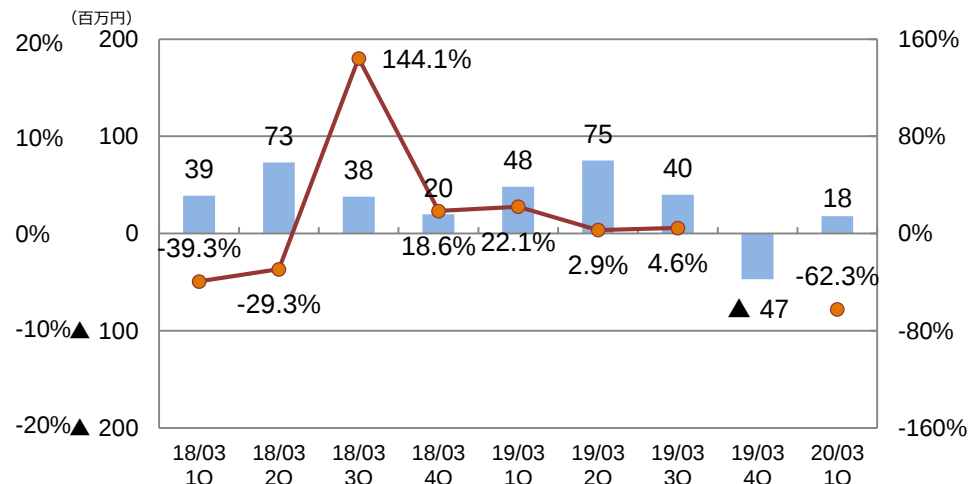
(単位：百万円)

	18/03 1Q	19/03 1Q	20/03 1Q	前年同期比
売上高	2,294	2,254	2,067	91.7%
営業利益	39	48	18	37.7%
営業利益率	1.7%	2.2%	0.9%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

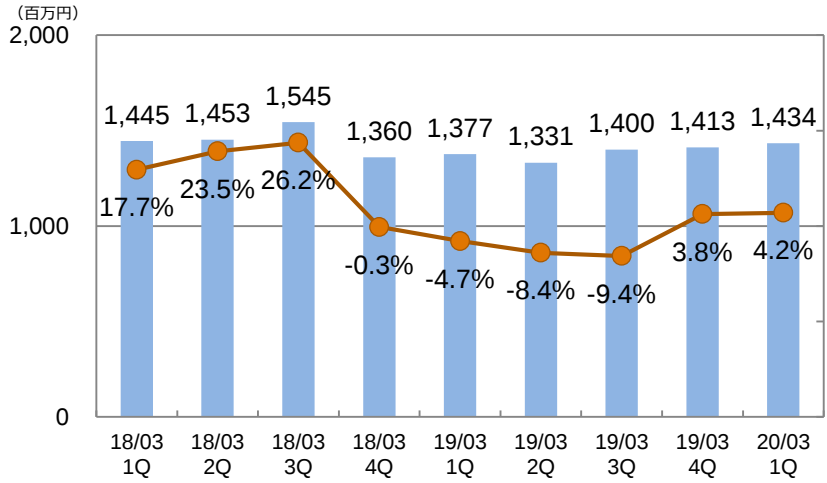
- リサイクル事業は、廃自動車の処理量が増加したが、4月より鉄スクラップ相場が下落したことなどから増収減益。(売上高1,291百万円(前年同期比7.4%増)、営業利益133百万円(前年同期比16.7%減))
- 中古自動車輸出手続代行サービス事業は、受注台数が減少したことから減収減益。(売上高118百万円(前年同期比19.7%減)、営業利益9百万円(前年同期比63.1%減))

その他のセグメント第1四半期業績

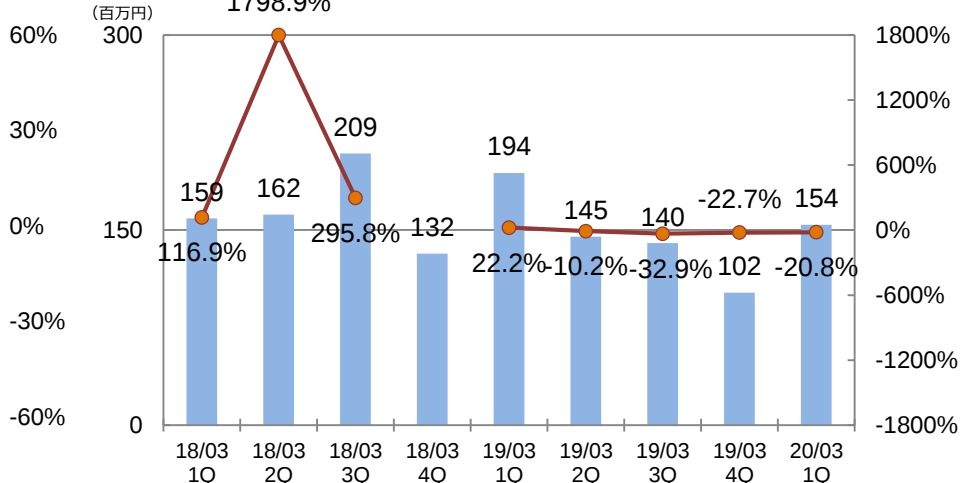
(単位：百万円)

	18/03 1Q	19/03 1Q	20/03 1Q	前年同期比
売上高	1,445	1,377	1,434	104.2%
営業利益	159	194	154	79.2%
営業利益率	11.0%	14.1%	10.7%	-

四半期売上高推移と前年同期増減率



四半期営業利益推移と前年同期増減率



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

2020年3月期 通期連結業績予想

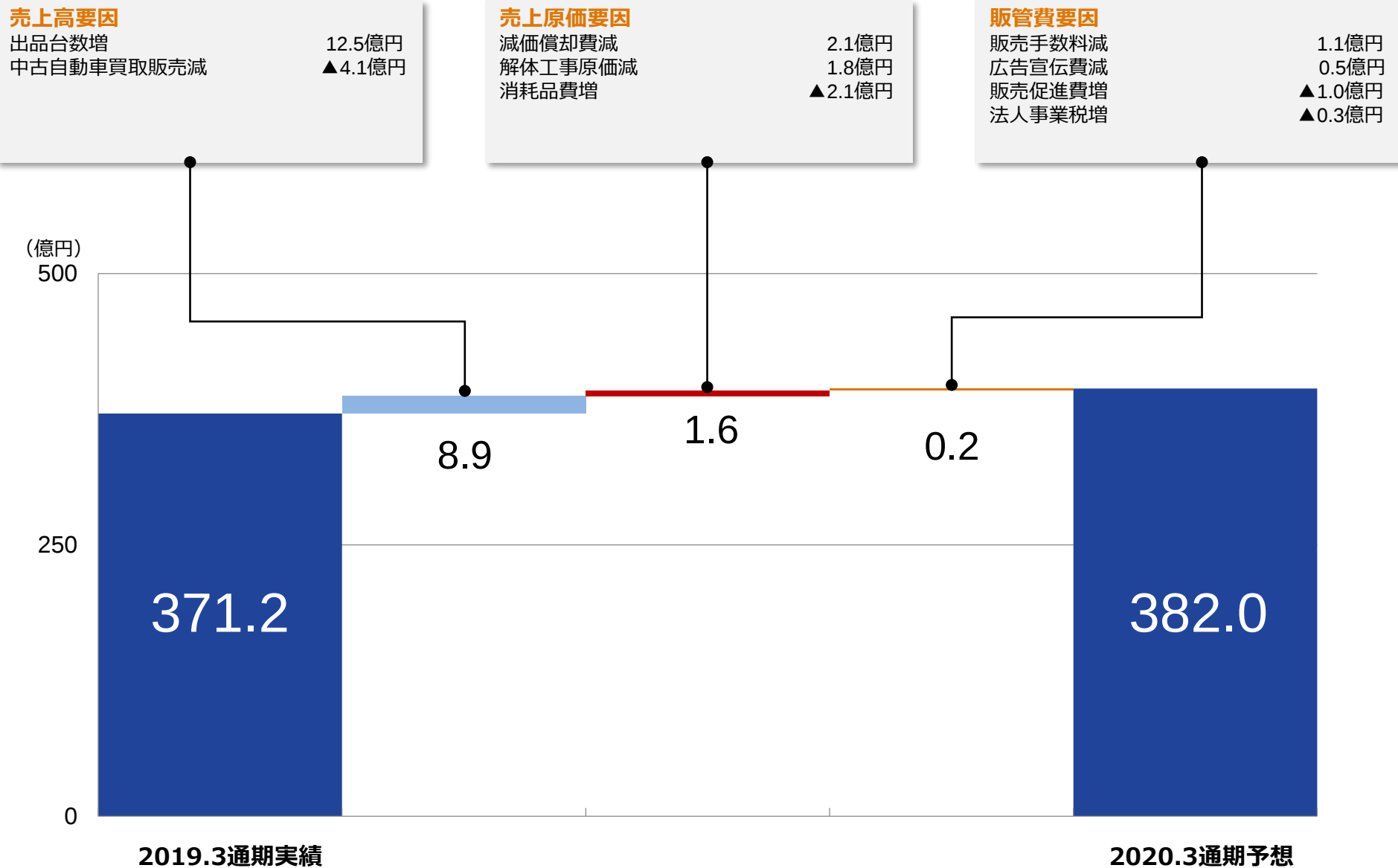
- 新車登録台数は、前期と同程度で推移する見通し。
- オークションシステムのリプレイスなどの会場リニューアルを実施予定。

(単位：百万円)

	2018.3 (実績)	2019.3 (実績)	2020.3 (計画) (5/13発表)	前期比
売上高	75,153	79,908	80,800	101.1%
売上総利益 (売上比)	45,979 (61.2%)	48,516 (60.7%)	49,570 (61.3%)	102.2%
営業利益 (売上比)	36,071 (48.0%)	37,123 (46.5%)	38,200 (47.3%)	102.9%
経常利益 (売上比)	36,676 (48.8%)	38,039 (47.6%)	38,700 (47.9%)	101.7%
親会社株主に帰属する当期純利益 (売上比)	24,285 (32.3%)	25,543 (32.0%)	25,800 (31.9%)	101.0%
1株当たり当期純利益 (円)	95.59	100.54	102.18	101.6%
設備投資 (支出ベース)	4,447	2,428	7,400	304.7%
減価償却費	4,983	5,299	5,114	96.5%
オートオークション事業(JBA除く)	2018.3 (実績)	2019.3 (実績)	2020.3 (計画)	前期比
出品台数 (千台)	2,700	2,930	3,000	102.4%
成約台数 (千台)	1,709	1,825	1,870	102.4%
成約率	63.3%	62.3%	62.3%	-

※業績予想は、前回公表（2019年5月13日発表）から変更ありません。

2020年3月期 営業利益増減分析（予想）



(単位：百万円)

	2018.3 (実績)	2019.3 (実績)	2020.3 (計画)	前期比
売上高				
オートオークション	59,521	64,684	65,892	101.9%
中古自動車等買取販売	9,827	9,701	9,472	97.6%
その他	5,805	5,522	5,435	98.4%
合計	75,153	79,908	80,800	101.1%
営業利益 (売上比)	36,071 (48.0%)	37,123 (46.5%)	38,200 (47.3%)	102.9%

市場環境認識と 中期的な価値創造に向けた戦略

■国内新車販売：中期的にも大幅な拡大は見込み難い。

- USSの戦略

- 1) JAA子会社化で近畿地区での市場シェアを大幅アップ。関東も市場シェアを高め、関東、中部、近畿地区の3大需要地全てで市場シェア40%以上を獲得
- 2) 競争力強化のためJAAに対して追加設備投資を実施
2019年5月 JAAのオークション会場を新築建替

■中古車輸出：短期的には、仕向先の経済環境、輸入規制等、為替動向に左右されるも中期的には安定的に推移

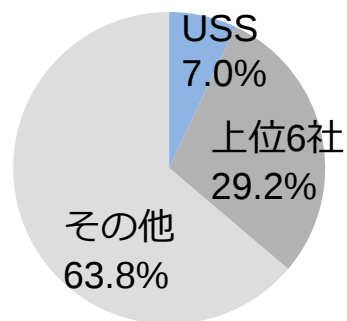
- USSの戦略

- 1) 全国各地域で最も良質な中古車が集まるオートオークションを目指し、さらなる市場シェアの拡大を狙う。

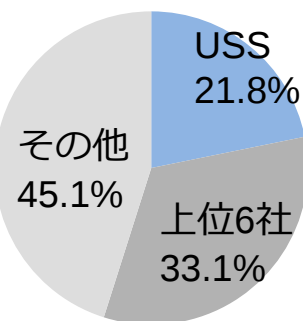
オートオークション市場とUSSのシェア

- 金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。
- JAAの子会社化で、市場シェアが大きく上昇。

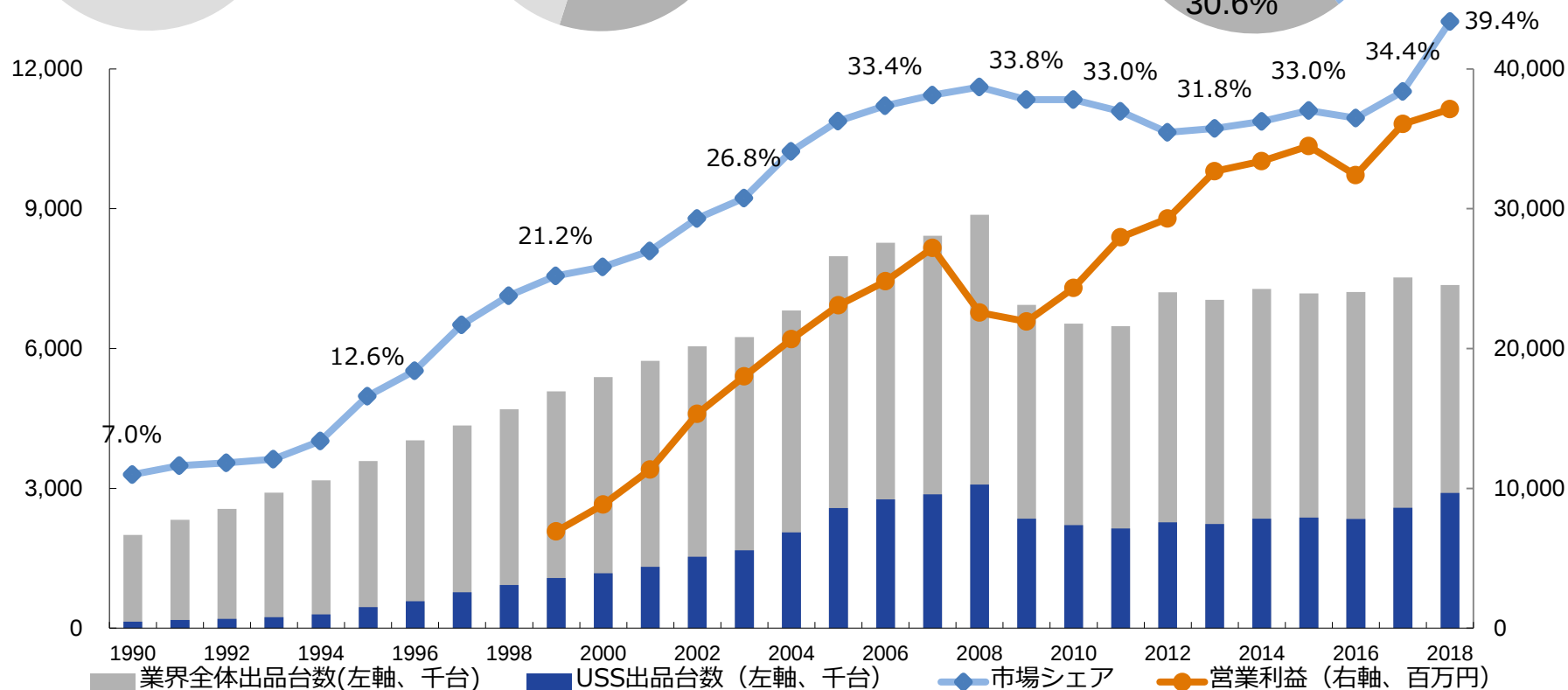
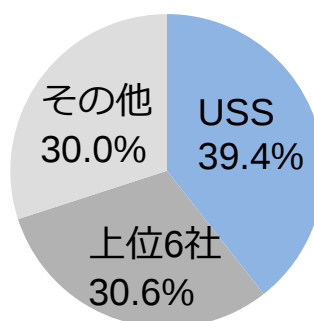
1990年（暦年）市場シェア



2000年（暦年）市場シェア



2018年（暦年）市場シェア



成長投資とともに株主還元の充実を継続

■連結配当性向：2017年3月期から**50%**以上。

JAAの株式を取得したが、配当政策（連結配当性向50%以上）に変更なし。

■自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。

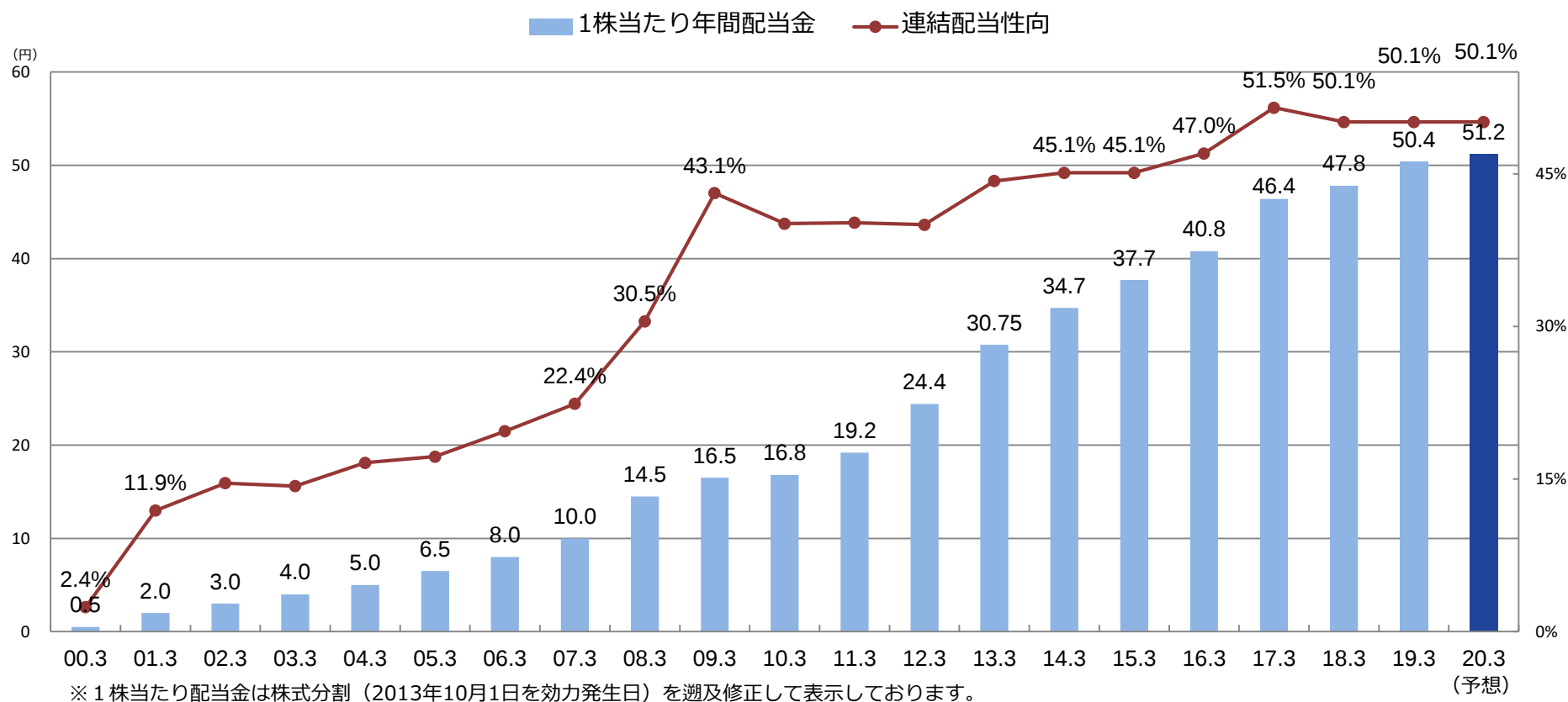
■直近の自己株式取得状況（約定日基準）

取得株式の種類	当社普通株式
取得期間	2019年2月13日～7月31日
取得株式の総数	4,419,400株
取得価額の総額	9,179,054,000円
取得方法	東京証券取引所における市場買付

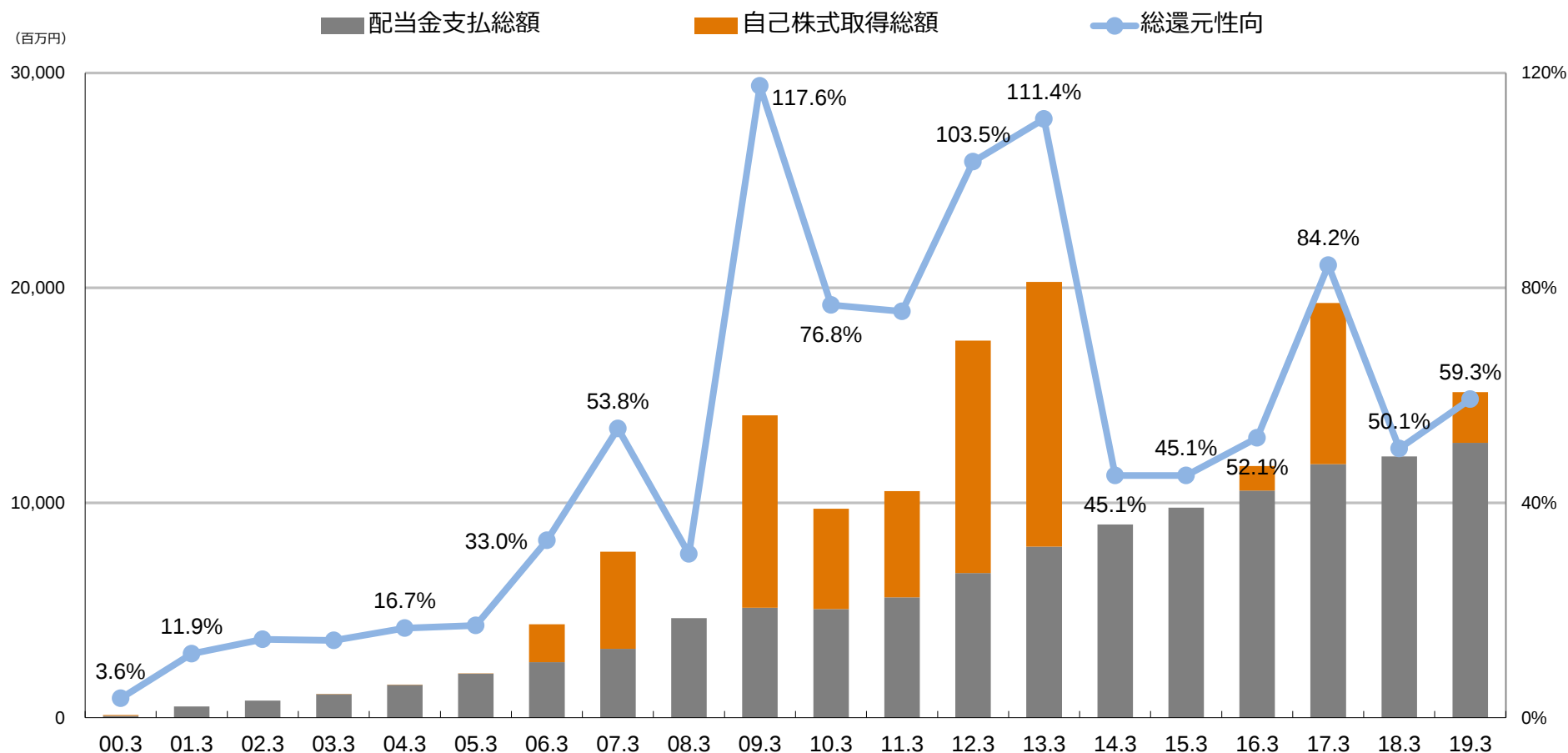
（2019年2月13日～9月20日までの期間にて、上限500万株/100億円の株式を取得予定）

■株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の水準を目指す。

- 2020年3月期の1株当たり年間配当金：**51.2円**（前期比0.8円増）を予想。
- 株式上場以来**20期**連続増配予想。

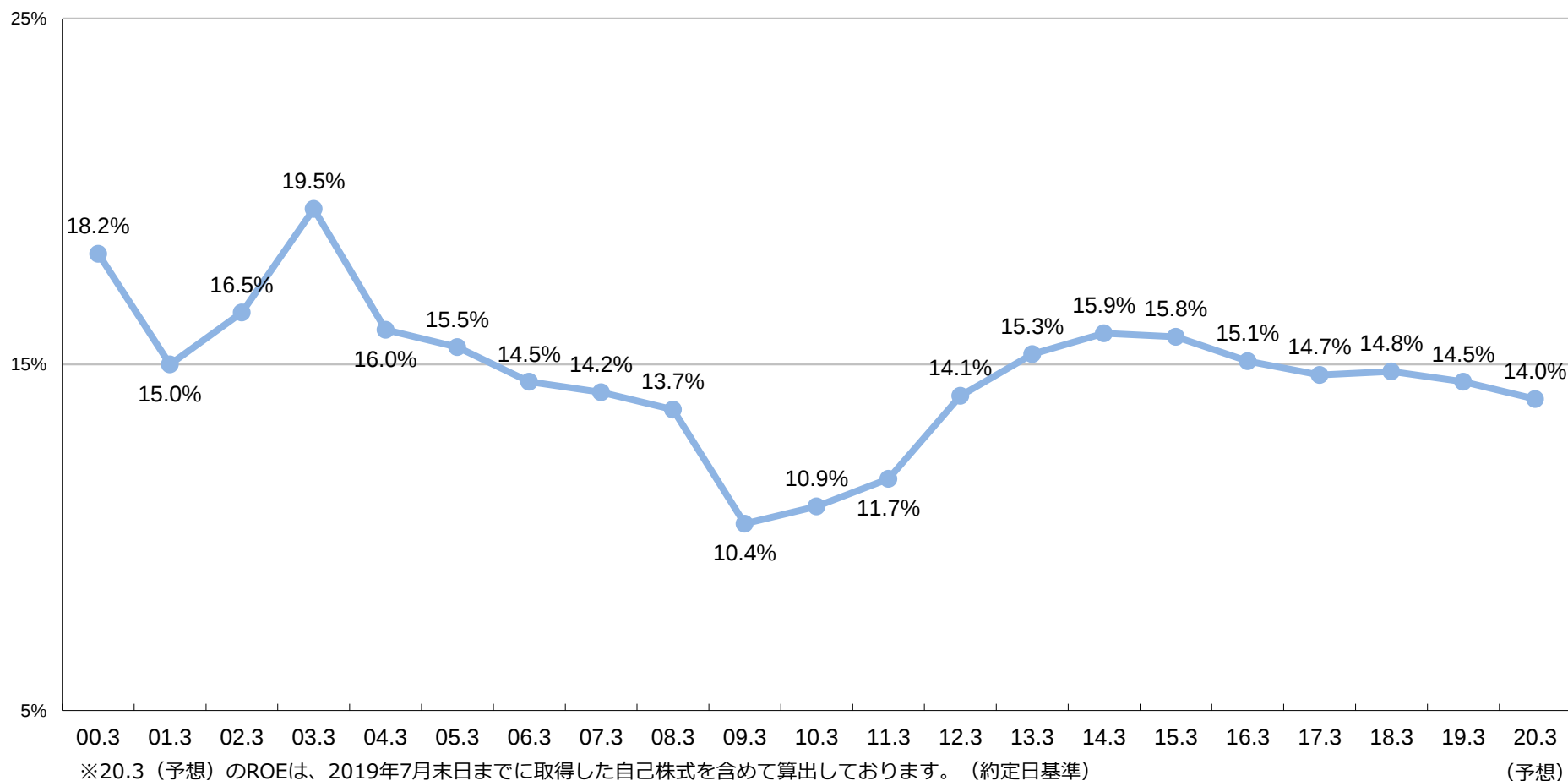


■安定的な配当とともに、機動的な自己株式取得を実施。
 (2019年2月13日～9月20日までの期間にて、上限500万株/100億円を取得予定)

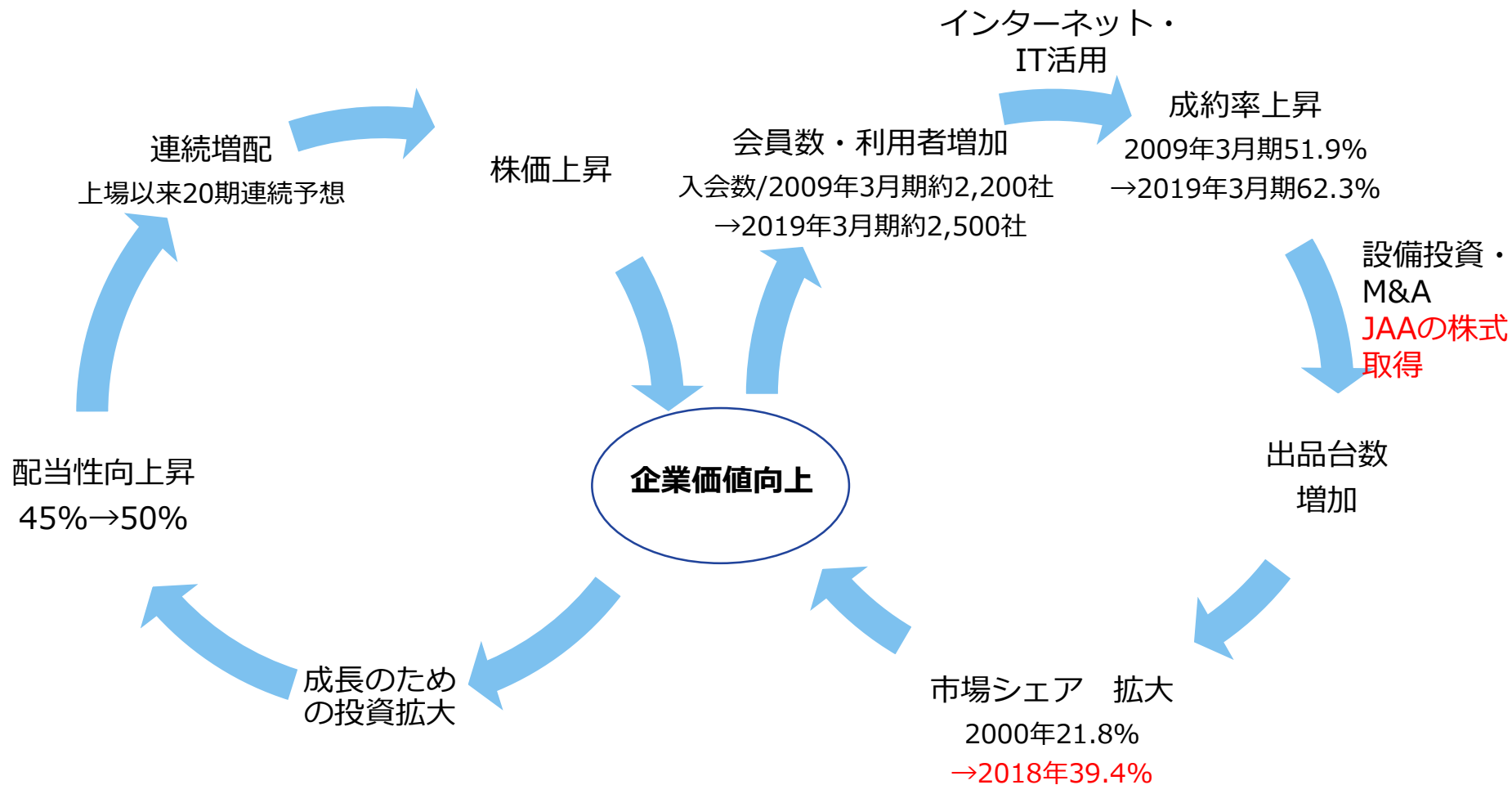


■中期的に15%以上の水準を目指す方針は不変。

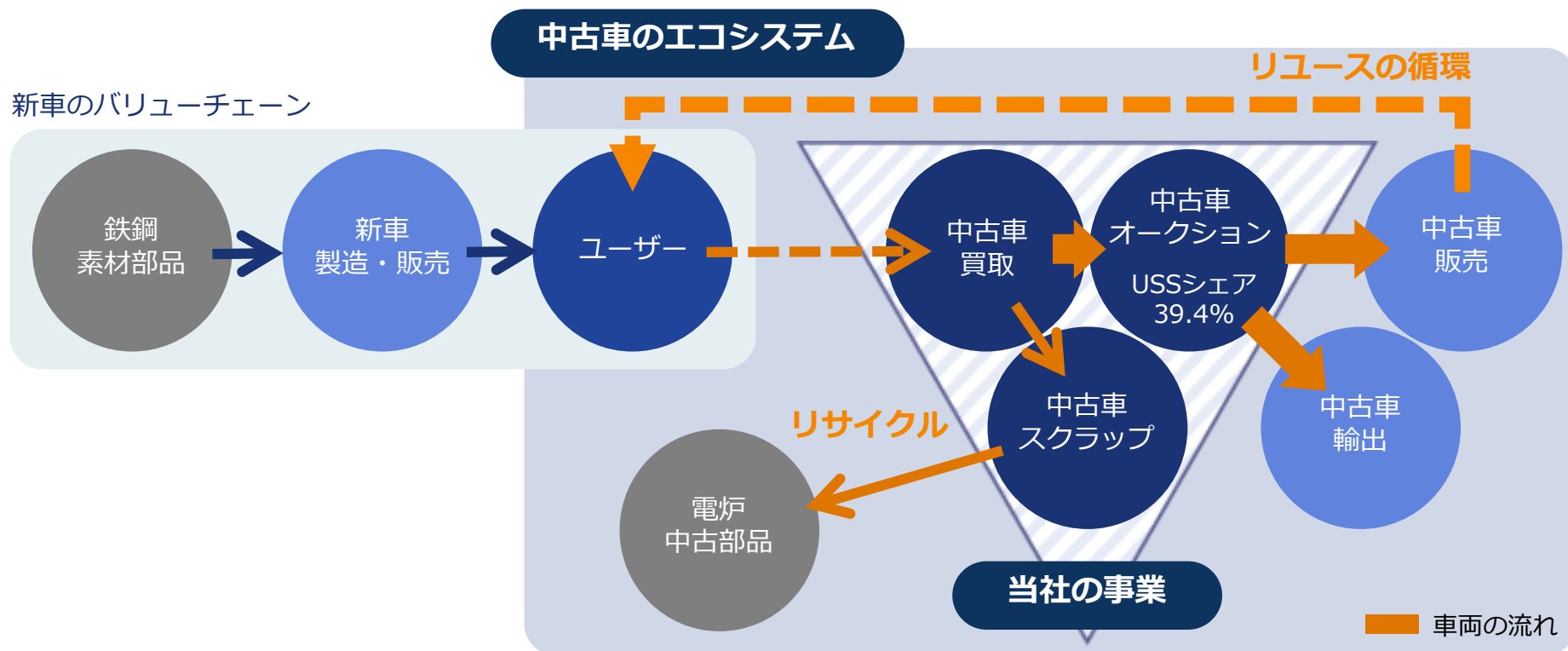
ROEの推移



■成長投資と株主還元の両輪で株主価値の向上を目指す。

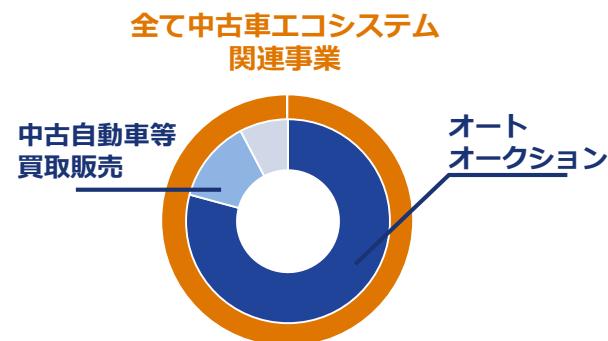


■USSは中古車エコシステムのプラットフォームとして、社会的な価値と経済的な価値を創造しています。



社会的・経済的価値の創造

- ◆ リサイクルのエコシステムへの貢献（環境負荷の軽減）
- ◆ 公正な価格形成による円滑な経済活動への貢献
- ◆ ユーザーのカーライフの選択肢の提供
- ◆ 新興国の経済発展への貢献



ご参考

USSの長期にわたる成長の歴史

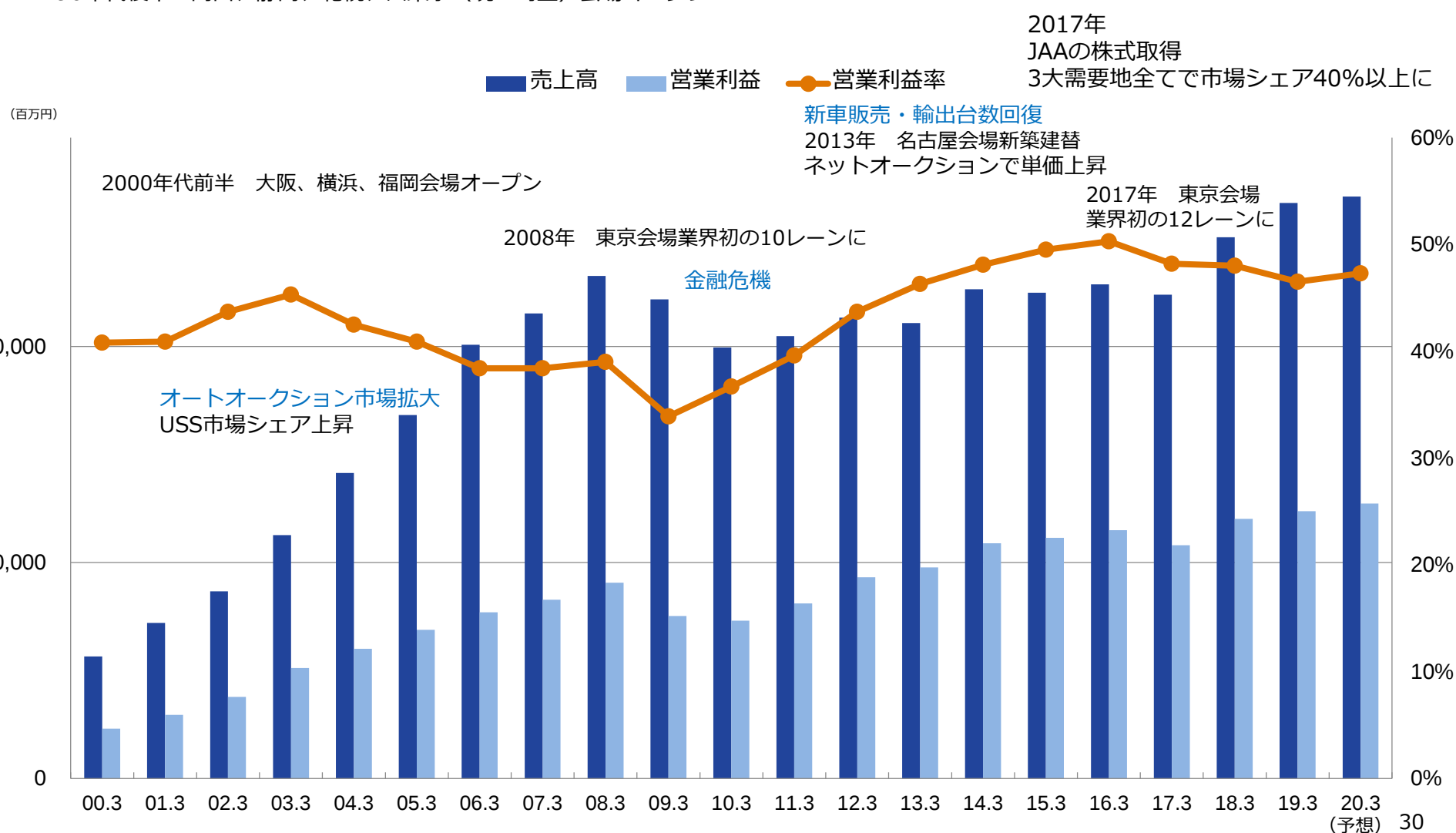
2000年以前の歴史

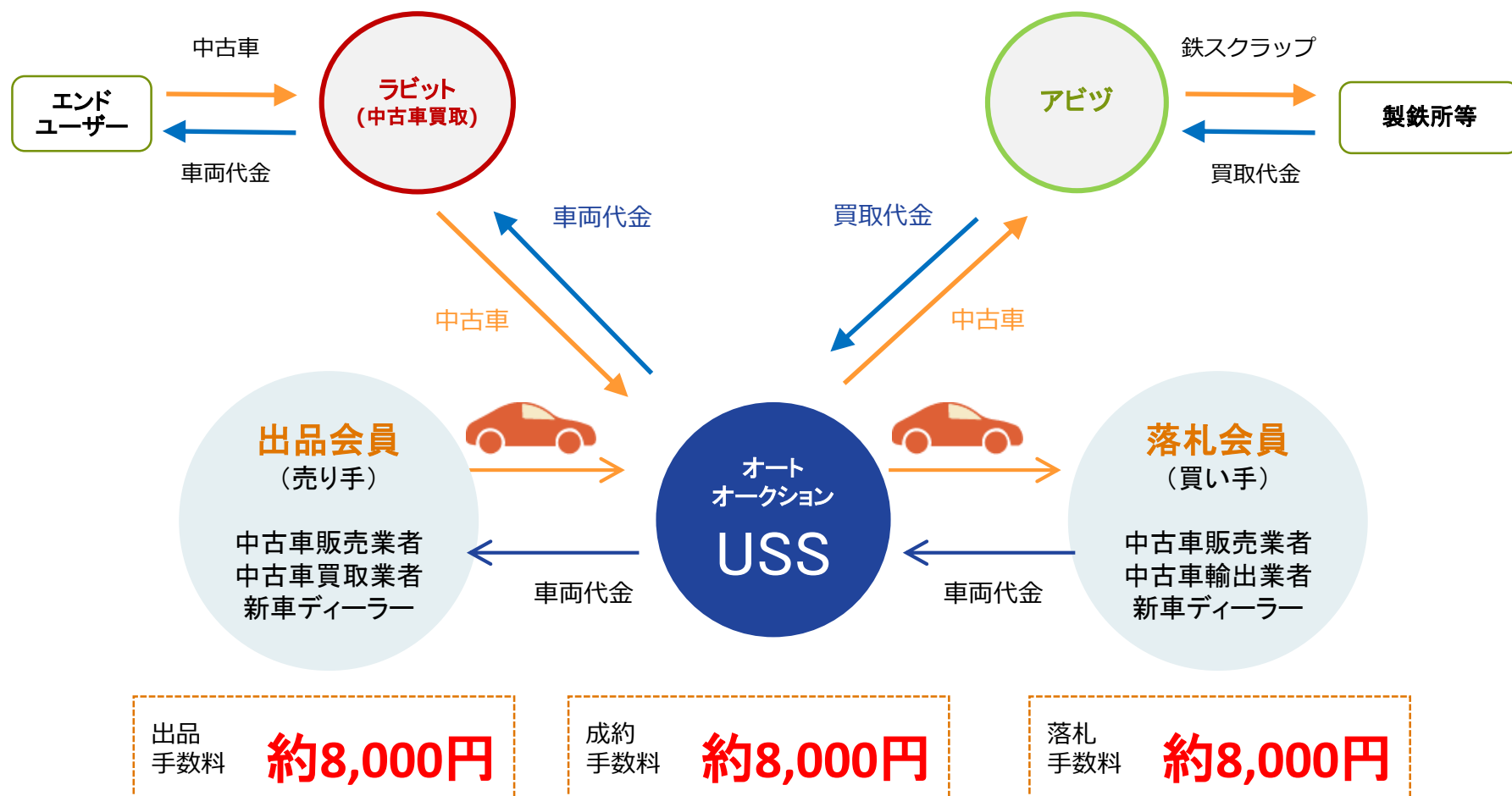
1982年 出品台数255台で第1回オートオークション開催。

88年 名古屋会場拡張 日本最大570席に

90年代前半 九州 東京会場オープン

90年代後半 岡山、静岡、札幌、西東京（現：埼玉）会場オープン



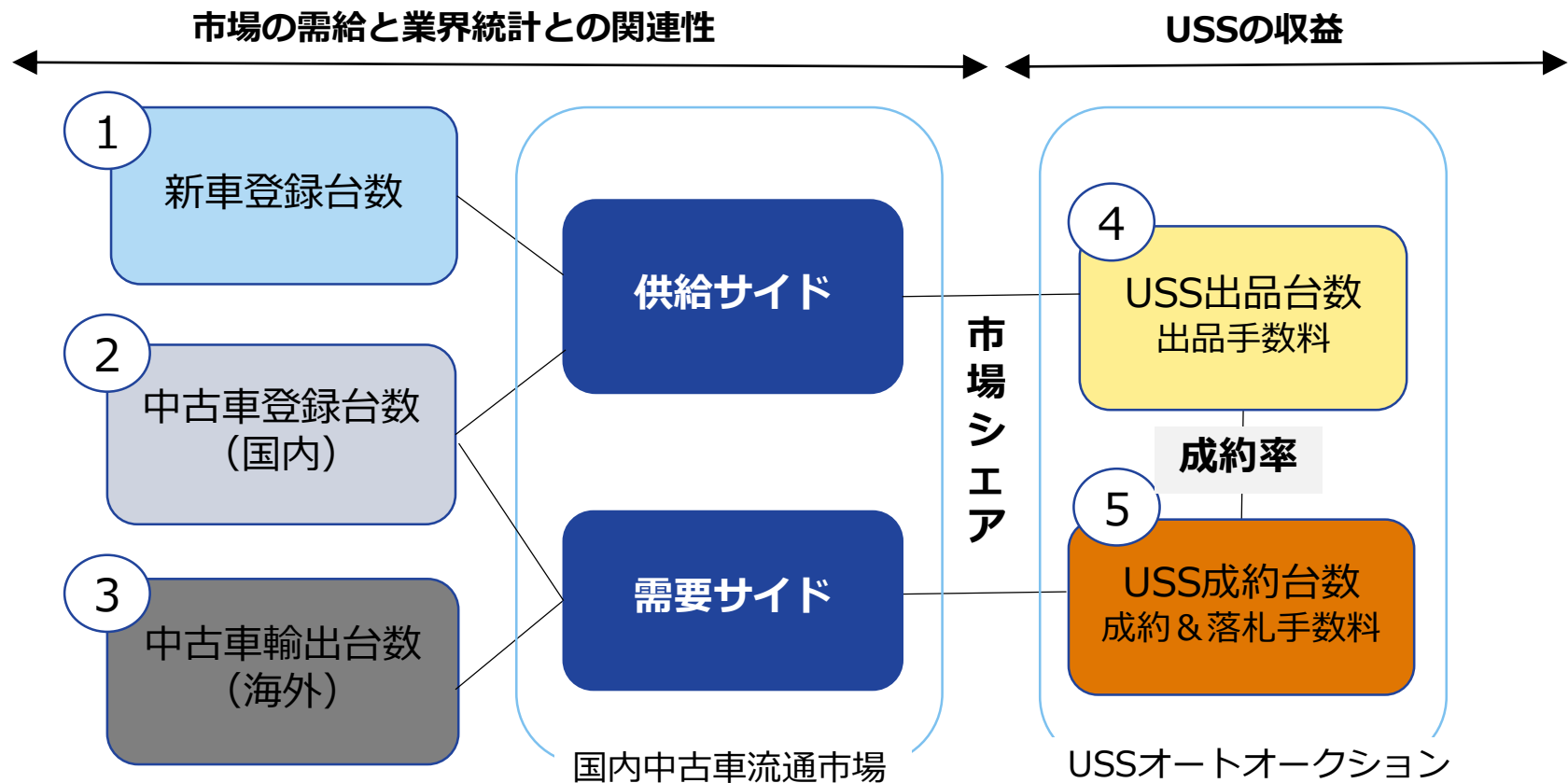


年間出品台数 **293万台**
(2019年3月期実績)

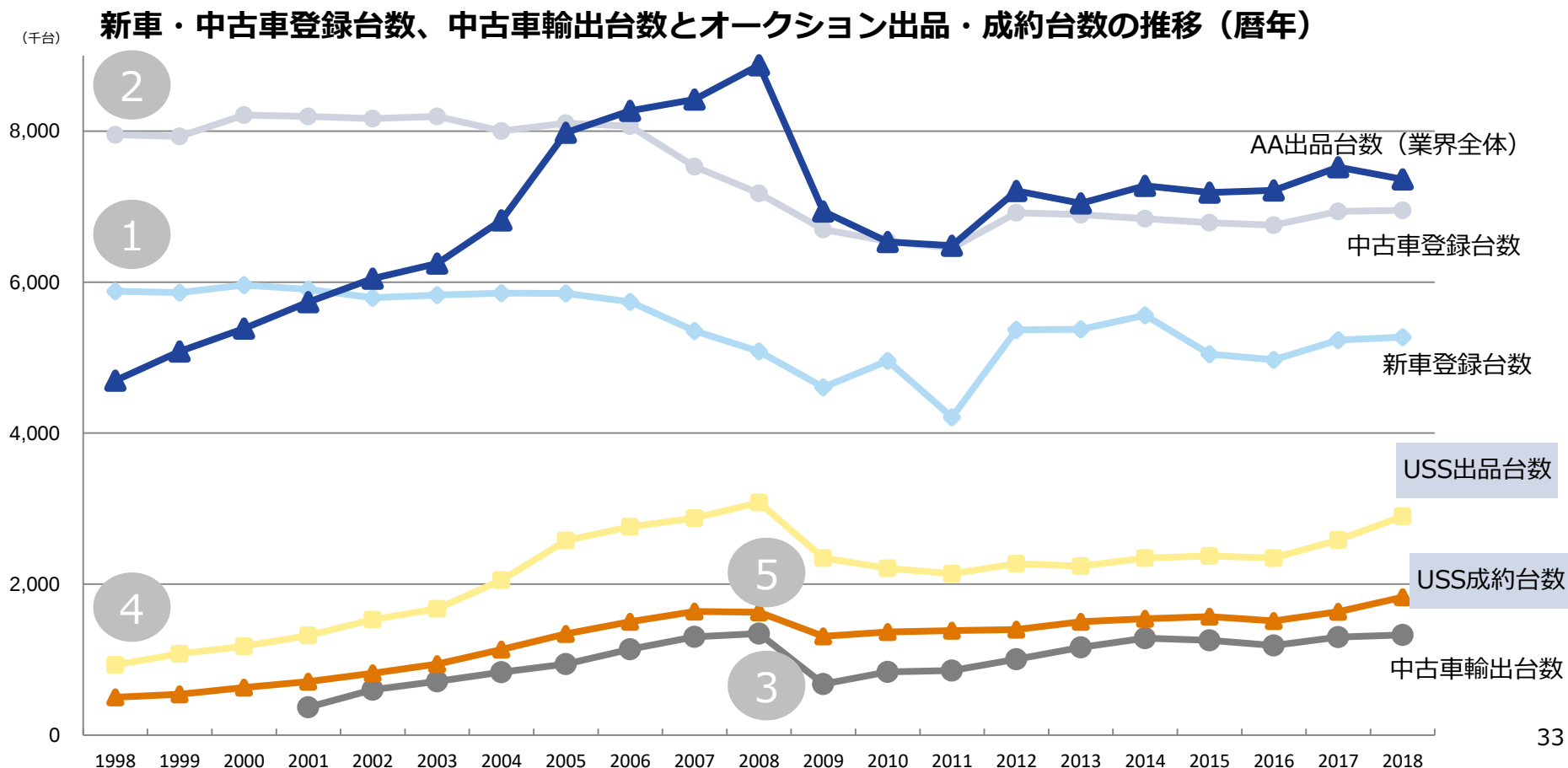
1台の成約につき
USSへの手数料 **約24,000円**

成約率 **62.3%**
(2019年3月期実績)

- オートオークション市場への中古車供給台数は、下取りを通して①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。



- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。
2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。



- 継続的な事業拡大を通じて企業価値の向上を図ることを経営の目標に、ガバナンス体制の充実を図ってきた。
- 2006年度より社外取締役制度を導入
- 2012年度より執行役員制度の強化
- 2015年度より指名・報酬委員会（任意）設置
- 2018年度より取締役会構成メンバーの多様化による経営の透明性と機能の強化を目指し、社外取締役として公認会計士でM&Aアドバイザーの専門家である高木暢子氏を選任

年度	2004	2006	...	2012	...	2019
取締役の数	12名	18名	→	12名	→	10名
うち社外取締役		4名	→	4名	→	3名

社外取締役制度導入

執行役員制度の強化

指名・報酬委員会（任意）設置

2019年8月現在
 取締役10名（うち独立社外取締役3名）
 監査役3名（うち独立社外監査役2名）
 執行役員3名